#### 名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業

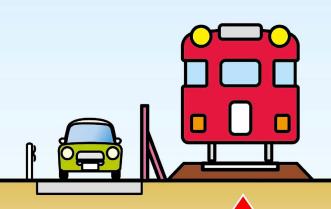


## 工事の手順

## 現在の状況

2023年3月4日から 仮線で列車を運行

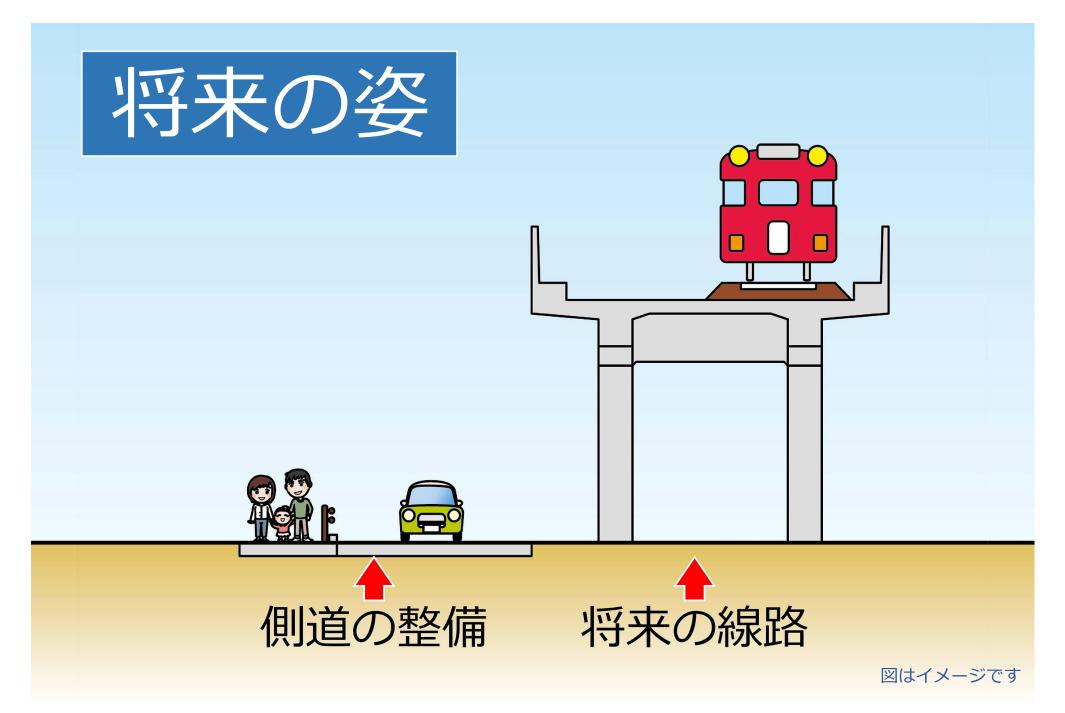
仮線への切替以前の線路





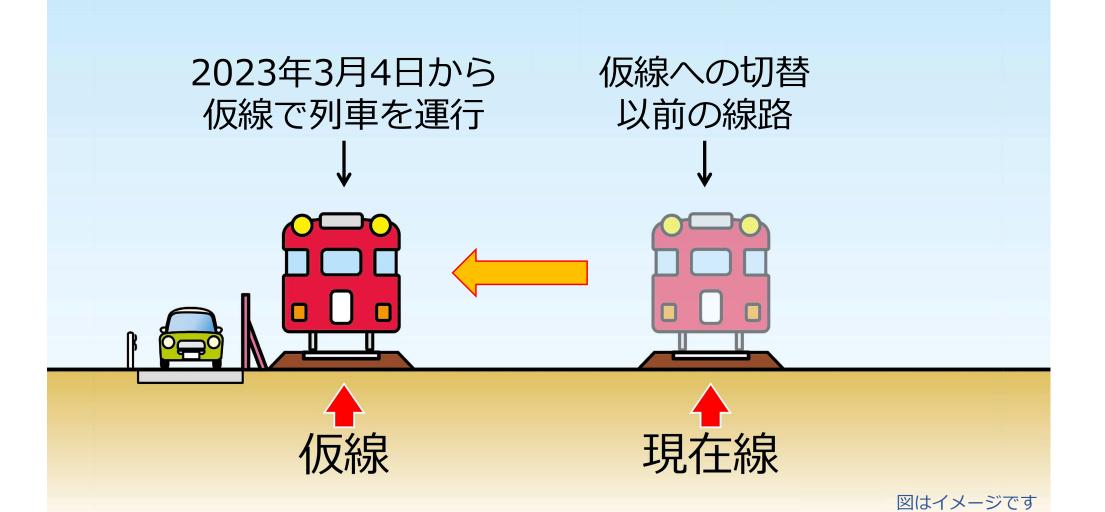
図はイメージです

本線工事は、現在の名鉄三河線の線路上に鉄道の高架構造物を建設する工事です。 図に示すとおり、3月4日から仮線で列車を運行しています。

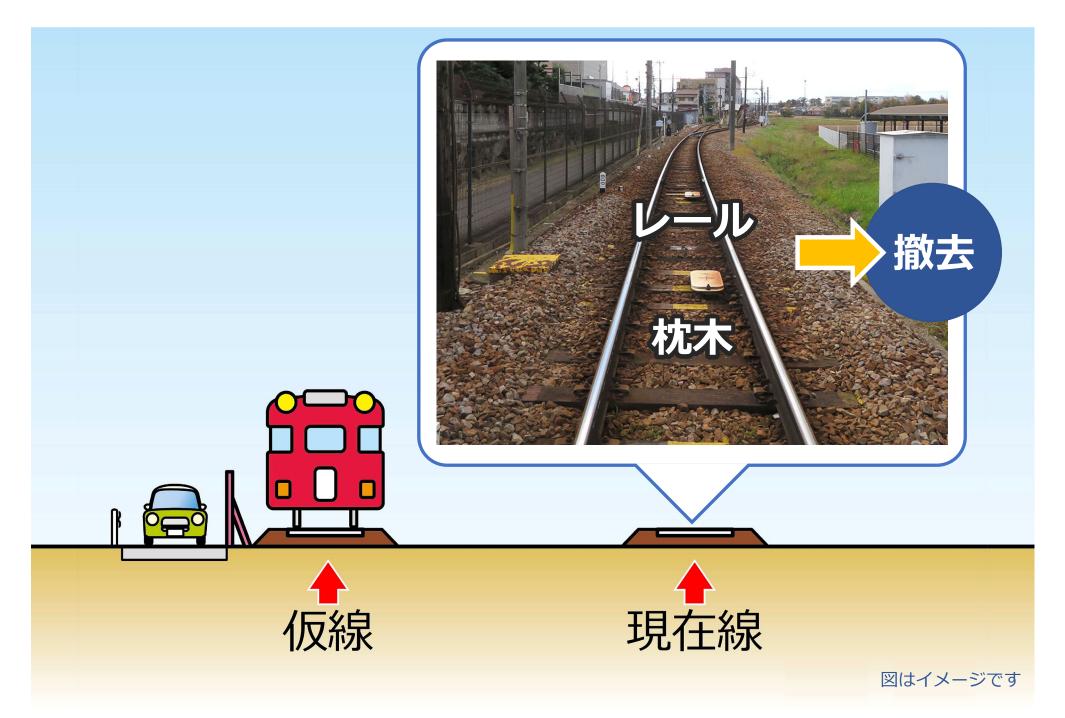


将来は、現在線の位置に、鉄道の高架構造物ができ、その上を列車が運行します。仮線は、側道として整備されます。

## 現在の姿



以上を踏まえ、本線工事の流れを順を追ってご説明します。本線工事は、列車の運行を仮線へ切り替えたのち、工事に着手します。

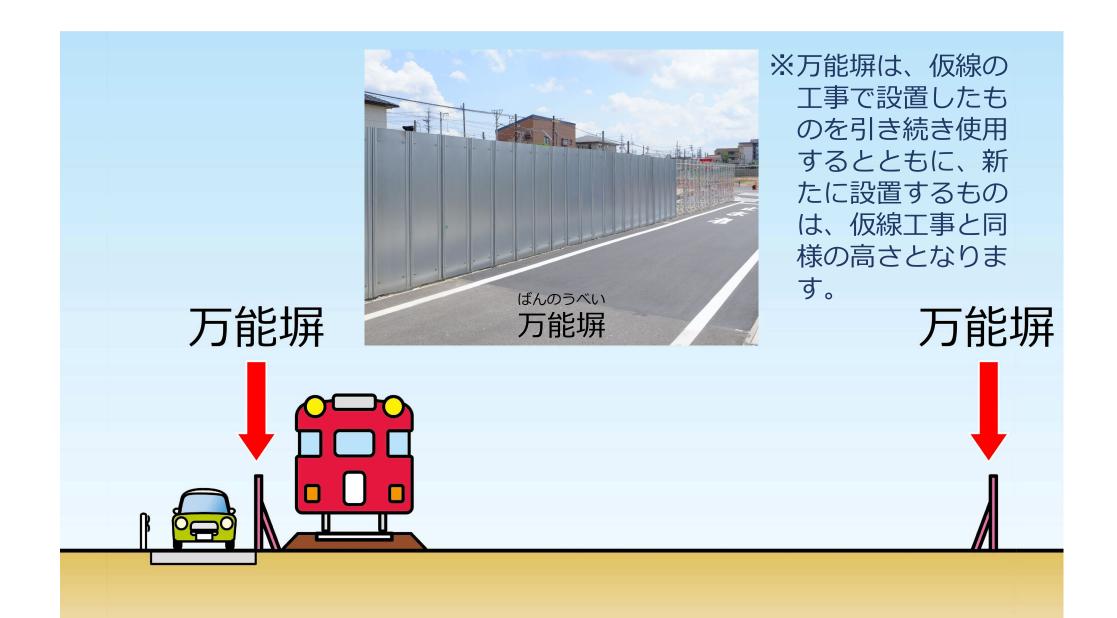


工事はまず、これまで列車の運行を支えてきたレールや枕木などを撤去すること から始まります。



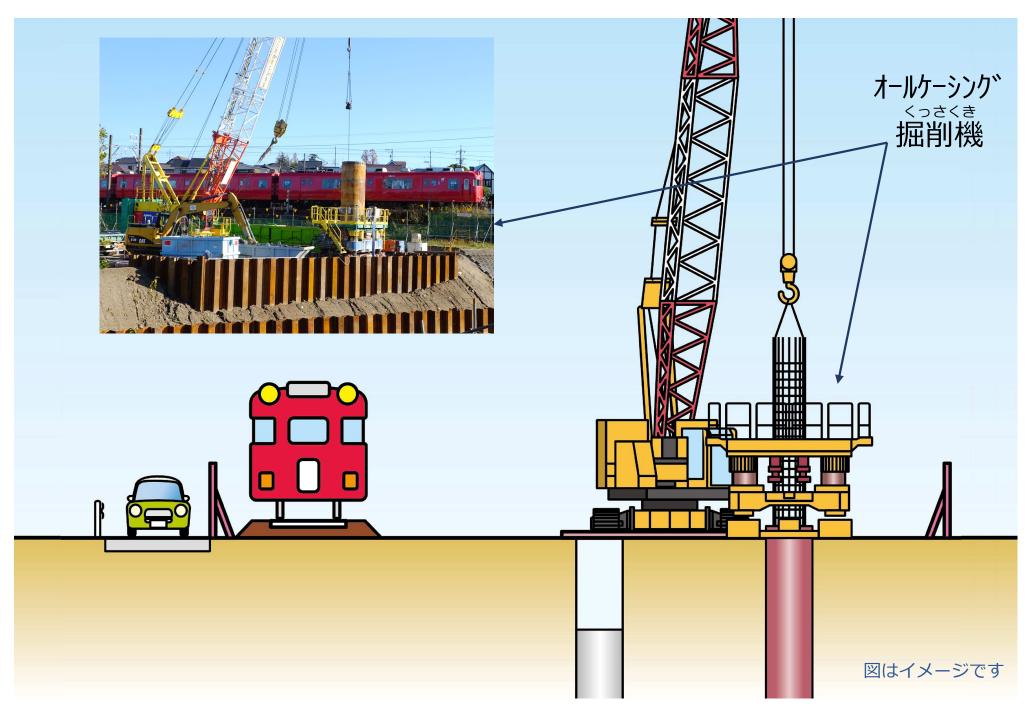
図はイメージです

レールや枕木、砕石の撤去には、小型のクレーンやバックホウを使用し、ダンプトラック等で運び出します。

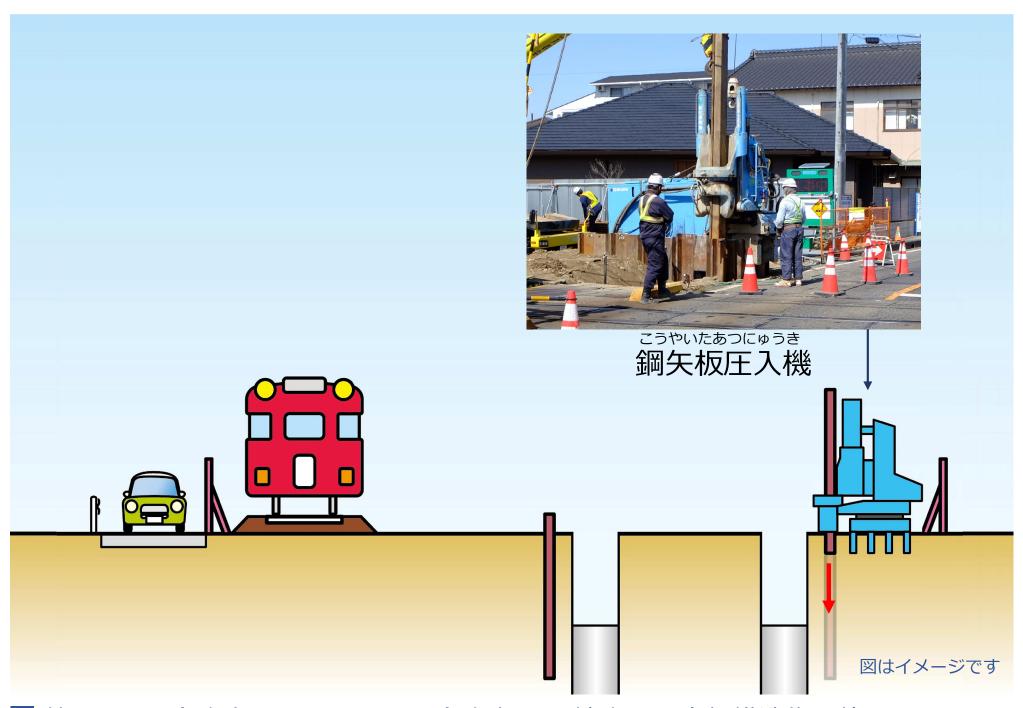


図はイメージです

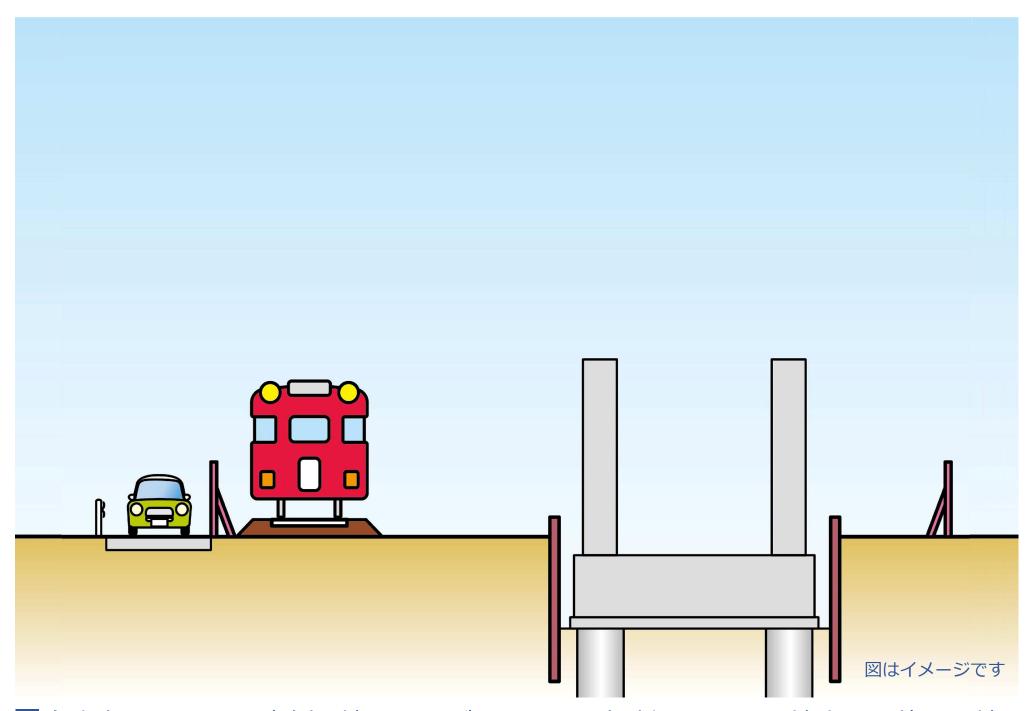
次に、本線工事の準備段階として、工事区域を仕切るための万能塀を設置します。 万能塀の設置の後、高架構造物を建設するための土台づくりが始まります。



地面を平らに均し、オールケーシング掘削機で地盤の掘削を行い、高架構造物の 基礎となる鉄筋コンクリートの杭を、現場で造成します。

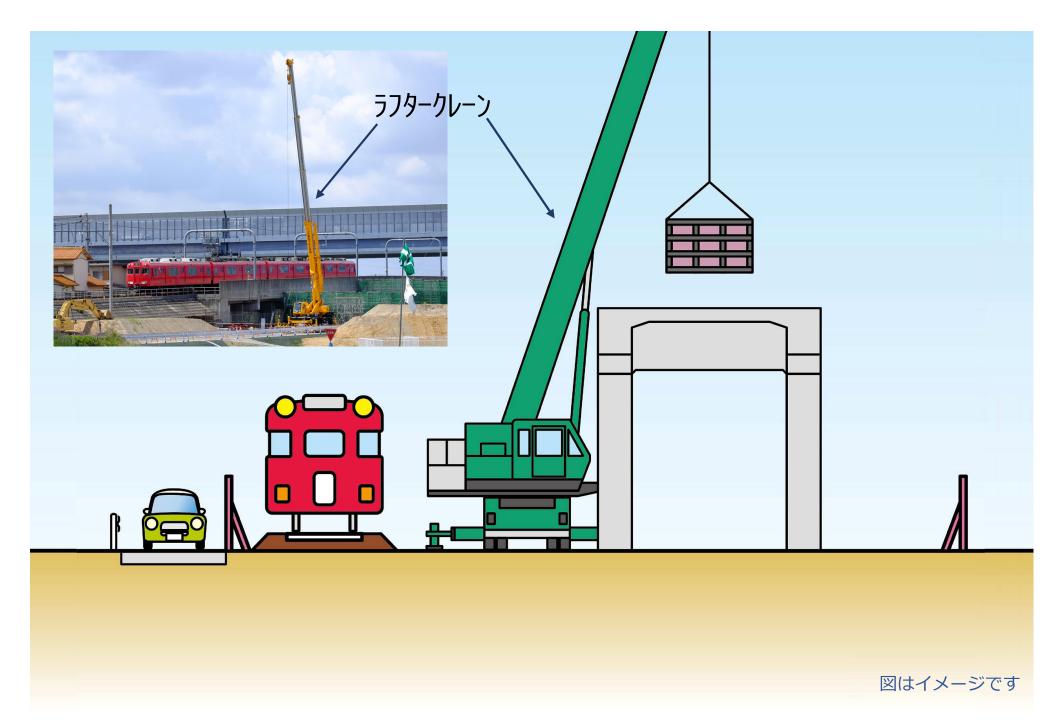


杭の周りに鋼矢板を設置します。鋼矢板は、地中梁や高架構造物の柱をつくるために必要となるもので、周りの土が崩れ落ちるのを防ぐ役割も果たします。

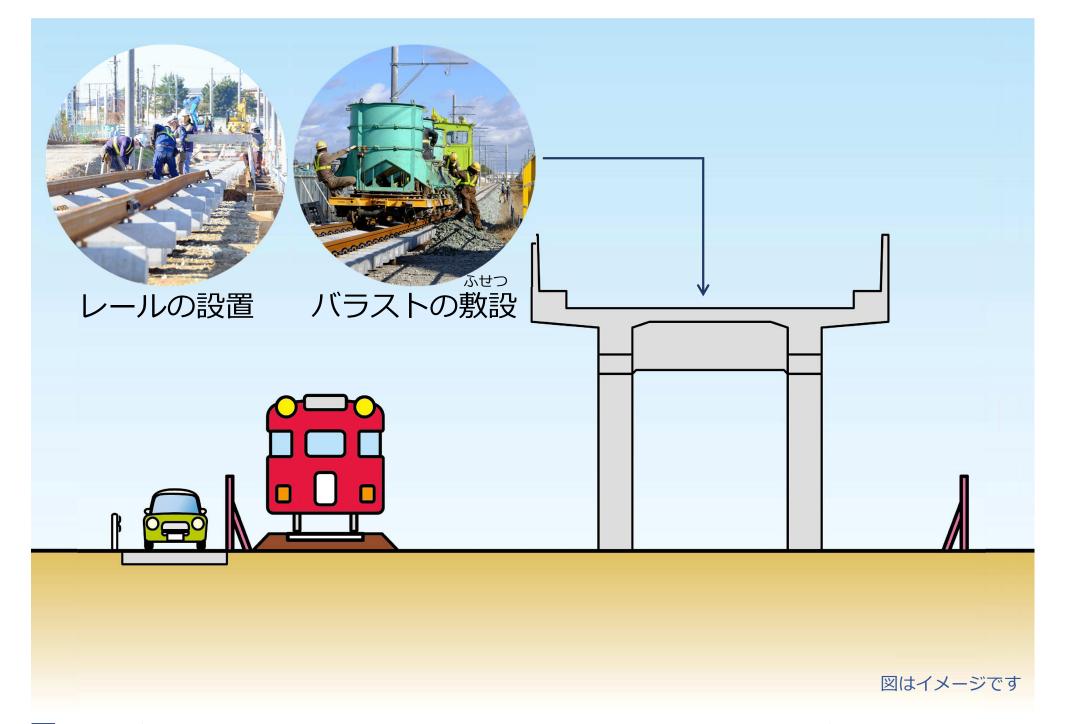


鋼矢板で囲われた内側の地面を、バックホウで掘削したのち、地中梁と柱を、地 面に造成した杭と接合し、構築します。

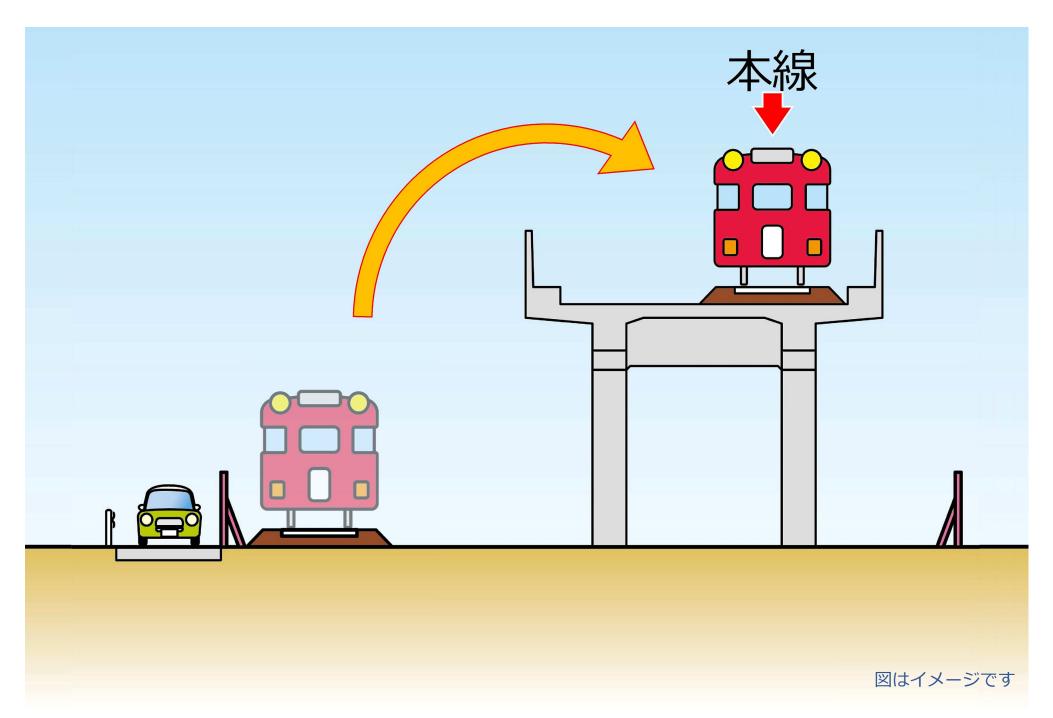
11



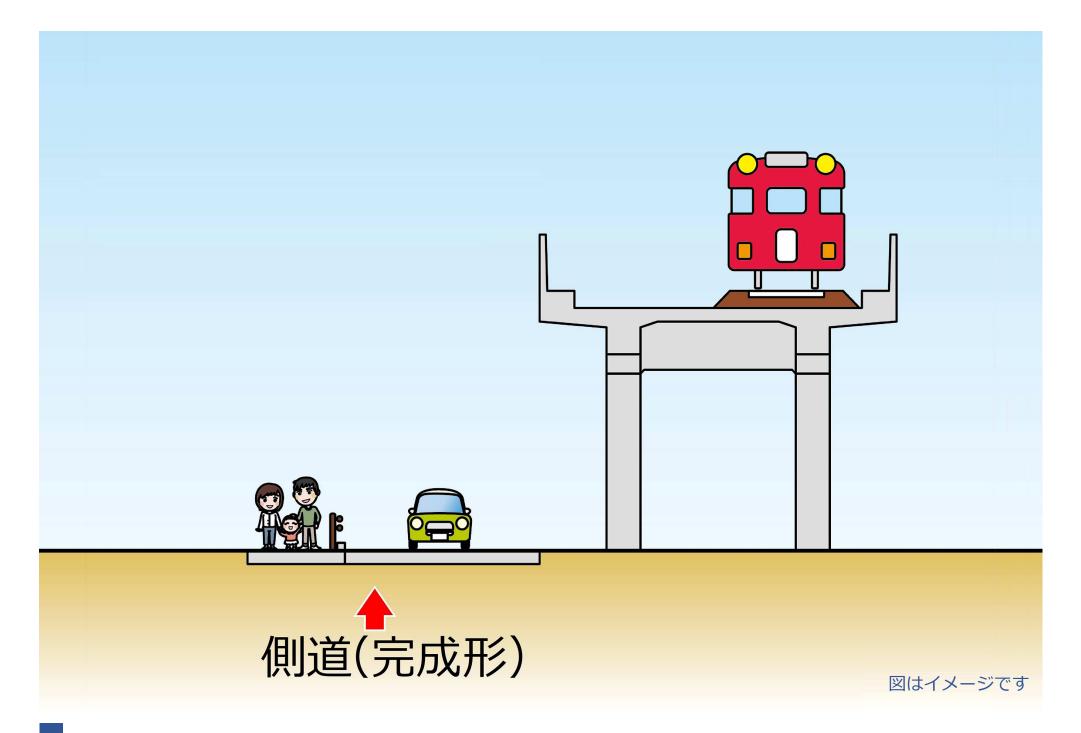
| 地面を平らに敷き均した後、列車が走行する部分となる床版をつくっていきます。 | 床版の構築には、資材を高所に運搬するためのラフタークレーンを用います。 1



床版が完成した後、レールや電気通信施設などを設置し、列車が走るための鉄道 施設を整備します。また、改札やエレベーターなどの駅施設も整備します。

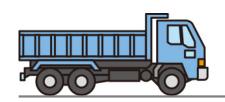


高架構造物が完成した後、仮線での鉄道の運行を、高架線上の運行に切替え、仮 線を撤去します。



最後に側道を整備し、事業完了となります。

## 工事車両について



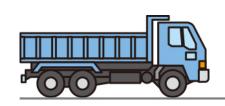
#### 工事車両の通行について

#### ●交通ルールの順守

★SLOW・SMART・STOPの3Sドライブを心掛け、安全運転を徹底します。

#### ●交通安全の確保

- ★登下校の時間帯は、特に安全確保に 留意します。
- ★歩行者や一般車両との事故の防止に 努めます。



#### 工事車両の通行について

#### ●工事車両の表示

★本事業に関わる車両には、 専用の表示を実施します。

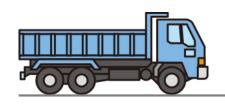
三河線 若林駅付近鉄道高架化事業に伴う

#### 工事車両

受託業者名

※表示例





## 工事車両の通行について

#### ●交通誘導員の配置

★特殊車両の通行時には、交差点付近に 交通誘導員を配置し、安全確保と交通 の円滑化に努めます。







### 施工ヤードについて

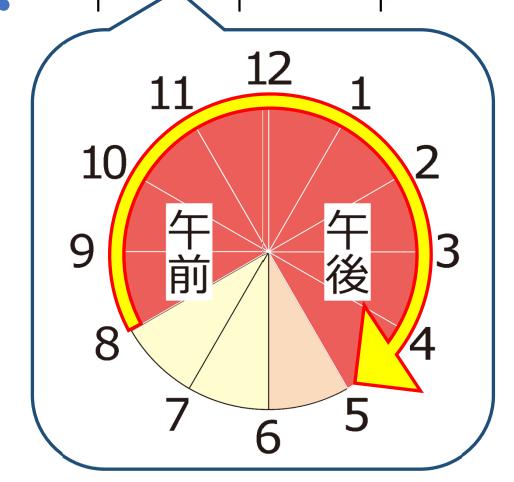
- ●借地をお願いすることがあります
  - ★原則、工事は豊田市及び名古屋鉄道㈱の 土地で行いますが、場合によって、借地 をお願いすることがあります。



#### 工事の曜日と時間帯

# 水





※日曜日や夜間に 工事を行う場合 もあります。



で事前に連絡 いたします。

周辺道路では、作業に伴い車両等の通行止めなどの交通規制が想定されます。



ご迷惑をおかけします



安全を心がけ、工事を進めてまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。